

かんきょう再生ニュース



この情報はインターネットより、資料として収集致しました。各々マスコミ各社の著作権が有ります。大量に印刷する等は、ご連絡願います。誌友会等の環境問題に関する参考となれば幸いです。



《東京第一教区》 <http://homepage3.nifty.com/souaika-tokyo/> 《教育110番》 <http://tokyo.cool.ne.jp/nisankatanso/saku.htm> 《父親教室/お父さん頑張って》 <http://homepage2.nifty.com/6789/index.htm>

相愛会環境問題編集部

平成17年6月1日発行 第00号

《エネ》日中両政府は30 3両日、東シナ海のガス田開発をめくり局長級協議を北京で開く。日本側は、中国が現在進めている開発の中止とデータ提供を重ねて要求。中国側は今回、日中両国が共同開発するよう具体的な提案を行う可能性もあるが、双方の溝は深く協議は難航必至だ。

日本から小平信因資源エネルギー庁長官、外務省の佐々江賢一郎アジア大洋州局長、中国側は崔天凱・外務省アジア局長が出席する。

中国側はこれまでも共同開発の考えを示していたが、どの海域を対象とするかなど、具体案を示していなかった。今回はどこまで踏み込んで提案するかが焦点だ。

《エネ》

昨年6月に発売した「太陽族」の第2弾で同じく、太陽光のエネルギーを電気に換えてため込む方式。新機種の充電器は、縦8.2センチ、横5.7センチ、最大の厚さは2.4センチと大きさもさらにコンパクト化した。「蓄電状況が分からない」などユーザーの要望にも応え、発電量と蓄電量を表示するメーターをつけた。緊急時には、乾電池を装着しての充電も可能になった。蓄電時間は、約四時間以上。3時間の蓄電でも緊急時には「十分対応できる」という。コンセントを使った専用アダプターと電気出力、充電時間とも同等を確保した。価格は、4千円から5千円の間で調整中という。

同社は、2003年5月に日本証券業協会の未上場向け証券市場「グリーンシート」に県内第1号として登録した。技術開発部の虫明直文部長は今後の企業戦略として「公共用品を含めて、

民間市場にシフトできる技術は、デザインに改良を加え、確実な売り上げに結びつけたい」と話した。

《環境》京都府八幡市内の子どもたちが学校や地域をより良くするために議論したり調査研究をする「八幡市子ども会議」の本年度の第一回会議が29日、同市文化センターで開かれた。子どもたちは取り組みたいテーマを話し合ったりして、今後の活動に向けてスタートを切った。同会議は市教委による学校改革の一環で、2年目。将来の社会参加の土壌作りとして、市内の小学5年から高校3年までの児童生徒計37人が委員となり、子どもの目線や自由な発想で意見交換し、学校づくりやまちづくりに反映させるのが狙い。

《エネ》

ロシア・チェチェン武装勢力の最高実力者、シャミル・バサエフ野戦司令官は2日、モスクワで大停電を引き起こしたとする犯行声明を出した。この停電は、モスクワ南西部の変電所で24日夜、火災が発生し、同市南部や周辺への電力供給が停止。地下鉄など公共交通機関や水供給が止まり、約200万人が影響を受けた。ビクトル・フリステンコ産業エネルギー相は、テロの可能性はないと発言していた。大停電の原因がテロだったとしたら、プーチン政権の面目は大きく失墜し、責任を問われる立場となる。

《エネ》

2日、「ヒートポンプ・蓄熱システム」の普及促進などを祈願する「蓄熱祭」があり、業界関係者ら約300人が参加した。

このシステムは、空気の熱を利用してエネルギーを生み出すヒートポンプと、需要が減る夜

間電力を有効利用する蓄熱を合わせたもの。地球温暖化防止策の一環として、注目されているという。

蓄熱祭は、財団法人「ヒートポンプ・蓄熱センター」（東京都）が企画し、同神社で6年から毎年行われ、この日は本殿前に「京都議定書目標達成祈願」などと書かれた3本の氷柱が供えられ、参列者は手を合わせていた。

《環境》

神奈川県松沢成文知事は31日、ノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんが提唱する「MOTTA INAI（もったいない）運動」を取り入れたキャンペーンに取り組むと表明した。地球環境保全に、一人一人ができる100の取り組みを県民に参加を呼びかける。もったいない運動が政策として具体化するのは初めて。

（毎日新聞）5月30日

《環境》

京都府宇治田原町でこのほど、府のレッドデータブックで準絶滅危ぐ種に指定されているヒダサンショウウオの幼生が入った卵囊（らんのお）が見つかった。同町内では2年前、幼生が確認されている。卵囊は長さ約10センチで、直径約20センチの石の底に約10房付着し、中に幼生が7～10匹ほどいたという。起彦君は昆虫図鑑などが好きで、えらを見てサンショウウオだと思い確認のために1房を持ち帰った。

（京都新聞）3月31日

地域の清掃に積極的に取り組み、美しい環境から若者の心に郷土愛を取り戻しましょう。語り合いましょう。